

昭和35年(1960年)に彦根市池洲町にあった滋賀県立短期大学家政科食物専攻に入学しました。写真のようにこじんまりしたキャンパスで家政科(被服専攻・食物専攻)保育科の1,2回生合わせて200名が学んでいました。各分野の先生方の熱心なご指導の下、友人達と楽しくのんびり2年間を過ごしました。



日々の授業・文化祭・体育祭・教育実習・クラブ活動、また調理実習での失敗など苦い思い出もあります。特に覚えているのが北海道旅行です。総勢40名と宮村緑先生、植田治男先生、当時彦根保健所に勤務されていた伊藤先輩が同行してくださいました。

1961年7/20～7/29までの9日間。費用は積み立てて、最初1万円ぐらいだったのが、ツアー会社が2,000円の値上げを依頼してきました。それじゃ参加しないと言う声もありましたが、結局半分程度の値上げで参加予定全員が行きました。翌年国家公務員中級で就職した私の初任給は、確か12,000円だったので、1,000円の追加出費は大きな痛手でした。

彦根発8時台の普通列車に乗り、北陸回りで翌日の午後に青森に到着。長時間の上、今のようにシートのクッションも良くなかったのでお尻が痛くなり、立ったり歩き回ったり。青森からは4時間30分青函連絡船に乗船し函館到着。北海道上陸!!!

およその行程は函館～昭和新山～登別(地獄谷・大湯沼・日和山・クマ牧場)～白老アイヌ村～車中泊～釧路～阿寒湖～網走～摩周湖～硫黄山～屈斜路湖～美幌峠～層雲峡～定山溪～札幌(市内観光・北大)～車中泊～函館～青函連絡船～青森

風光明媚な峠や湖の雄大な景色・広大な農地・温泉・静かな田園地帯に突然できた昭和新山・北大散策等々。トラピスト修道院のバター飴や駅売店で買った牛乳・アイスクリームもおいしかった。



1961年の昭和新山

噴火から約16年、モノクロ写真をソフトで最近Colorizeしたものだ。当時、多くの人が遊歩道の上の方(黄色い矢印の辺)まで登っているのが見えます。今より規制が厳しくなかったのか?



2011年の昭和新山

噴火から約70年、5月初め。山裾の木々はこれから緑を濃くしていきます。この日は雨後で加熱した溶岩から水蒸気が上がっていました。かなり手前(芝生の向こう)で入山禁止。山は温度低下や浸食などによって少しずつ縮んでいるようです。

ケチケチ旅のため道内の移動は2回車中泊(東室蘭→釧路・札幌→函館)。その時の駅弁の値段は100円とアルバムに貼ってある包装紙に書いてあります。豪雨のため東室蘭駅で足止めってこともありました。

帰りは太平洋側回りで普通列車に乗って東京へ。東京でみんなと分かれ、数名が友人の知人の方に新宿御苑等

案内してもらいました。ちょっと気取ったポーズをした写真が残っています。

強行軍ながら写真からは、疲れた様子はいかがえない楽しかった北海道旅行。アルバムを見ながら半世紀以上前のことを思い出しました。(随分前のことなので記憶に曖昧なところもあります)